作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、
内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

YAMAHA WR250R / X
DESERTBOX サイレンサー
(NoGuard 仕様・共通)
取付説明書

SP TADAO

<取付所要時間の目安>
約40分

<商品内容>

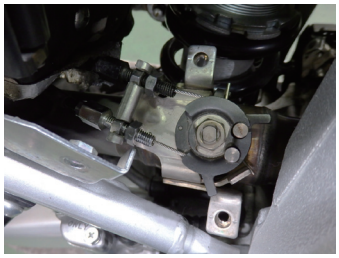
① DESERTBOX サイレンサー	×1
② サイレンサーバンド	×1

※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。
※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
※ 本製品にはサイレンサー差し込み部のガスケットは付属しておりません。 状態により再使用が可能ですが、傷んでいる場合には
取り付け後の排気漏れを防ぐ為にも車種専用の物をご購入の上、新品に交換して下さい。
※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を 貼っておく事をお勧めします。

❶ 純正サイレンサーを取り外します。

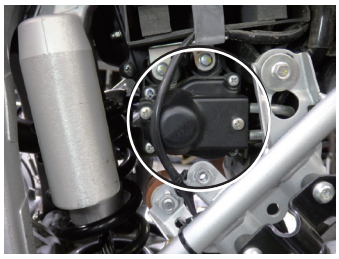
車体右側・サイドカバーを
取り外します。

排気バルブを覆っているカバー
（2点止め）を取り外し・・・

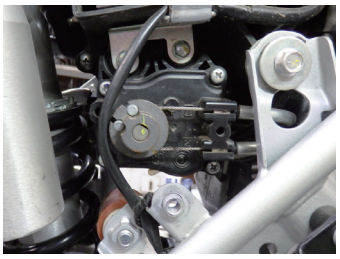


排気バルブに繋がれている2本の
ワイヤーの固定を緩め、ワイヤーを
タイコ部分から取り外します。

車体左側・サイドカバーを
取り外します。



排気バルブのサーボモーターを
覆っている黒いカバーを
取り外し・・・



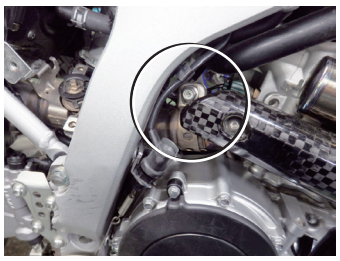
サーボモーターに繋がれている
ワイヤー 2 本をタイコ部分から取り外し
車体左側からワイヤー全体を取り除きます。

サイレンサーボディーを
覆っているプロテクター（3点止め）
を取り外します。

サイレンサーを取り外す前に
フレームやエンジン、サスペンション
スプリングなどを傷付けない様に
あらかじめ養生しておきます。

DESERTBOX マフラー装着後、サーボモーターはワイヤーなしで
自由に動いている状態になりますが、全く問題ありません

写真は POWERBOX パイプ &
オリジナルカーボンヒートガード装着車両

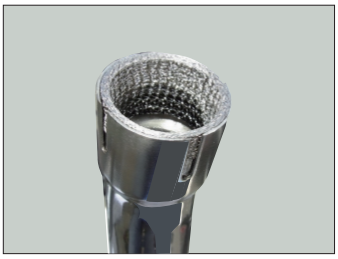


サイレンサー差込部のバンドを緩め、
ボルトは抜き取っておきます。錆によって
固着している場合にはラスペネなどの
防錆潤滑剤を吹き付けて、しばらく
経ってから作業することをおすすめします。

サイレンサー固定部2箇所を緩め・・・

サイレンサーを車体から取り外します。
上下左右に細かく揺すりながら
少しずつ引き抜いていくのがコツです。

❷ DESERTBOX サイレンサーを仮組みします。



純正サイレンサーから
ジョイントガスケットを抜き取り、
DESERTBOXサイレンサーに移し替えます。

ジョイントガスケットは基本的に再使用しますが、
固着して取れなかったり、著しく傷んでいる場合には
WR250専用サイズの物を別途ご購入の上、
新品に交換して下さい。あらかじめグリスを薄く塗ってから
差し込むと滑りが良くなり、ガスケットを傷めずに
入れ易くなります。

● サイレンサー・ジョイント・ガスケット
YAMAHA純正パーツ品番：5PX-14755-00

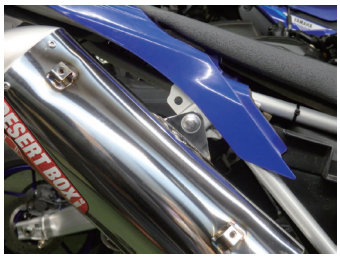
POWERBOX パイプ との組み合わせの場合

SP忠男 / POWERBOX パイプとの組み合わせの場合には
ジョイントガスケットは使用しません。ダイレクトに組み付けます。
接合部分から排気が漏れたり水滴が垂れる事がありますので
あらかじめ 差し込み部には液体ガスケットを塗布してから
組み込む事をおすすめします。

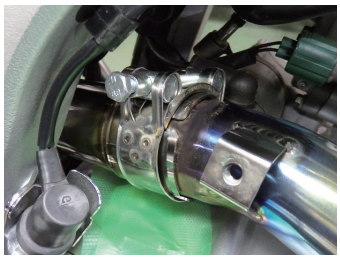
エキゾーストパイプのヒートガードは
取り外した方が作業性が向上します。

付属のサイレンサーバンドを
エキゾーストパイプ側にあらかじめ
（緩い状態で）組み込んでおきます。

DESERTBOX サイレンサーをエキゾースト
パイプにゆっくりと挿入して行きます。



各部固定には純正サイレンサーに使用していたボルト類を再使用します。



サイレンサーバンドを合わせ面の
スリットの上に重ね合わせ、
ボルトを軽く締め込んでおきます。

サイレンサーをエキゾーストパイプに挿入し難い場合には
エンジン側固定部を一旦緩めて、マフラー全体の可動域を
増やしてから作業して下さい。
※最後に本締めを忘れずに！（締め付けトルクの目安：13Nm）

❸ 各部の隙間、取り付け状態を確認し、各部本締めを行います。

❹ マフラー全体をきれいに拭き上げます。

マフラーに付着した汚れや油分をパーツクリーナーでしっかりと拭き取って下さい。
汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと
あとで落とすのが困難になりますのでご注意下さい。

❺ 外装パーツを元に戻します。

サイレンサーボディーのプロテクター
（3点止め）を取り付けます。

NoGuard 仕様の場合には
プロテクターは装着しません。

左右のサイドカバーを取り付けます。

写真は POWERBOX パイプ &
オリジナルカーボンヒートガード装着車両

エキゾーストパイプ側のヒートガードも
取り外していたら、しっかり元に
戻します。

❻ エンジンを始動し、接合部から排気漏れの無い事が確認できましたら作業終了となります。

※ マフラー装着完了後も取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
※ 製品によってはサイレンサー下部・前方のリベット付近やパイプの一部に小さな穴を空けています。
これは水抜き用に設けられた穴ですので特に問題はございません。
※ 製品の構造上、ご使用状況によってはアフターファイヤーが発生する場合がありますが、
性能や耐久性に問題が生じるものではございません。
※ 装着直後はマフラー内部に残った油分により、白煙や臭いが発生する場合がありますが
数日で解消されます。
※ マフラーの使用期間・使用状況によっては、音量が大きくなる事があります。
使用距離：10,000km毎を目安にサイレンサー内部消音材（＝グラス・ウール）
の交換をお勧め致します。（詳細は弊社までお問い合わせ下さい。）

上記の内容を良くご理解いただいた上でご使用下さい。